

作文コンクール

** 作文テーマ **

「わたしの住む町」

町にはいろんな風景があります。そこに住む人たちの暮らし、働く人たち、人知れず地域に貢献している人たち、美しい自然・景色、古くから受け継がれてきた伝統文化、最先端の科学技術など、日ごろ目にしていることや新たに気付いたことを作文にしてみましょう。

(作文の内容例) 私の町の暮らしと風景, 紹介したい町の人, 助け合いの大切さ, 町の将来のためにやっていること, 科学技術を使った町づくり, 理想の町づくり, 等

** 目的 **

茨城の豊かさや伝統文化, 科学技術などの魅力を発見して, 現在の暮らしを見つめなおし, また, 将来の茨城の町の理想を考えてもらうことを目的として実施いたします。

** 対象 **

茨城県内に通学する小学校・中学校, 義務教育学校, 中等教育学校及び特別支援学校の児童・生徒

** 募集部門 **

- 小学生低学年の部(1年～3年)
- 小学生高学年の部(4年～6年)
- 中学校の部(1年～3年)
(義務教育学校7年生～9年生)

** 表彰 **

表彰区分	表彰人数
茨城県知事賞	各募集部門ごとに 1名ずつ
日立財団 小平記念賞	〃 1名ずつ
茨城県教育委員会 教育長賞	〃 1名ずつ
茨城新聞社長賞	〃 1名ずつ
チャレンジいばらき県民運動 理事長賞	〃 1名ずつ
日立財団 奨励賞	〃 10名ずつ

** 募集期限 ** 令和元年9月6日(金) 必着

《 お問い合わせ 》 チャレンジいばらき県民運動

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸 1-5-38 茨城県三の丸庁舎 2階

TEL (029) 224-8120・FAX (029) 233-0030

E-mail: info@challenge-ibaraki.jp

後援(予定)

茨城県/茨城県教育委員会/公益社団法人 茨城県青少年育成協会/
株式会社 茨城新聞社/株式会社 茨城放送/NHK 水戸放送局/毎日新聞 水戸支局
読売新聞 水戸支局/朝日新聞 水戸総局/産経新聞社 水戸支局/日本経済新聞社 水戸支局/東京新聞 水戸支局/茨城県学校長会/茨城県PTA連絡協議会

《 応募方法 》

❖❖ 応募規定 ❖❖ 400字詰め原稿用紙（B4版）を使用して下さい。

部門	枚数
小学校低学年の部（1年生～3年生）	2枚以内
小学校高学年の部（4年生～6年生）	2枚以上3枚以内
中学校の部	3枚以上4枚以内

- 作文用紙は1枚目の1行目に作品の題名，2行目に学校名，学年，氏名（ふりがな），3行目から本文を書き出してください。
- 字数が足りないか，又は超えている場合（1割程度）は，審査の対象外となることがあります。
- 本人による直筆を原則としますが，筆記が困難な場合については，パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。詳細は事務局までご連絡ください。
- 1人1点の応募とし，テーマに沿った作品を対象とします。
- 他の作文コンクール等に応募していない作品に限ります。

❖❖ 応募方法 ❖❖

- 通学している小学校・中学校で取りまとめて提出して下さい。
- 各学校では，「校内審査」を実施し，小学校においては6点以内（低学年3点・高学年3点），中学校3点以内の作文を，チャレンジいばらき県民運動あて送付して下さい。併せて，各学校においては，チャレンジいばらき県民運動ホームページにある応募フォームにも入力をお願いします。（HP：<https://challenge-ibaraki.jp>）

❖❖ 審査基準 ❖❖

- コンクールの目的や募集テーマに沿った作品であること。
- テーマのとらえ方や考え方が素直であり，自分の意見・感想を率直に述べていること。
- 年齢相応に正しく理解し，かつ年齢相応の言葉で表現していること。
- 自分の体験や生活の様子が感じられること。
- 規定の枚数であること。
- 誤字・脱字がなく，その他の表記も正確であること。

❖❖ その他 ❖❖

- 作品は原則として返却しません。また，作品の著作権はチャレンジいばらき県民運動に帰属します。
- 入賞作品，入賞者の写真等は新聞各紙又は，チャレンジいばらき県民運動，公益財団法人日立財団のホームページ等に掲載される場合があります。
- 本コンクールの作品募集に際して提供された個人情報，本人の承諾なく第三者に提供することはありません。

公益財団法人 日立財団では，株式会社日立製作所の創業者である故小平浪平氏の事績を記念し，茨城県内の小中学生を対象に「小平記念作文」事業を昭和47年より実施してまいりましたが，平成29年からはチャレンジいばらき県民運動の作文表彰事業「作文コンクール」との共催事業として実施しております。